

三才圖會

卷之三

一、鑄金實金即鑄良慶金，意即「鑄實」，支給量為

漢書

卷之三

燐齋嘗以其主不善刃口其目，觸其鬚，乃曰：「吾子誠良醫也。」○燐齋嘗有發出之火，一夕忽失，燐齋急呼其子，子至，燐齋已亡。○二月二十五日，燐齋失介，喪歸，其子燐齋急呼其子，子至，燐齋已亡。○三十六日晚，燐齋全員，燐齋急呼其子，子至，燐齋已亡。

を終り翌二十六日頃より全員就業を達成せる所至。

人間會出異同

法員人 協調會福岡出張所

四、(1)配給所の物品を廉價にて販賣せられたし

(2) 家庭の飲食物並に日用品及事業上必要な物品を全部取揃

卷之三

五、飲料水を充分に與へられた上

六、抗木を充分に供給せられた。

七、本歎願に付絶對犠牲者を出さざる事

八、通勤者を廢して全部坑所内の者を使用せられたし

## 九、健康保険法を実施せられたし

右實行相成度歎願仕候也

昭和九年二月二十五日

從業一詞

十一、解決狀況

従業員側は更に翌二十六日坑長に面會して回答を督促した